

**「ローカルフード法・条例で地域の食を守る」
「地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案」**

2022年5月9日9時AM、参議院議員 川田龍平が、第208回通常国会に提出する「地域在来品種等の種苗の保存及び利用等の促進に関する法律案」(通称ローカルフード法案)の、記者発表を行います。

<https://localfood.jp/archives/712>

異常気象による干ばつや凶作、パンデミックやウクライナ紛争などによって、グローバルな食と流通のシステムが壊滅的打撃を受け、既に食糧配給制度を導入している国も出るなど、「世界的食糧危機」が現実になりつつあります。

そんな中、タネに農薬、化学肥料に農業資材と、食のほとんどを海外に依存しているにも関わらず、登録されるタネも農家も年々減っている日本は、非常に危機的な状況と言わざるを得ません。有事だらけのこの時代、何があっても国民を飢えさせず、自国のタネと生産者を保護して活かす地域ベースの循環型経済と、子供たちのいのちと健康を守る「食糧安全保障」の法制化が急務であります。

そこで、在来種のタネを守り、学校給食と連携させることで、持続可能な地域の食システムを全国に導入するための「ローカルフード法案」を作りました。これをまず国会で成立させ、次に全国の地方自治体で地域事情に沿った「ローカルフード条例」を作って頂く。2つが車の両輪となり、日本初の「タネから流通・消費までの循環型食システム」が実現します。日本の食料安全保障のためには、党派を超えた協力が欠かせません。1日に開設したサイト(<https://localfood.jp/>)は既に1万人以上が閲覧、200名超が登録し、全国からの反響が止まりません。

9日朝9時に動画を流しますので、何卒、貴メディアでも取り上げて頂きたく、お願い申し上げます。

【ローカルフード法/条例についての問い合わせ先】

参議院議員 川田龍平事務所 担当:高木
住所:〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館 508号室
TEL:03-6550-0508 FAX:03-6551-0508
MAIL:ryuuhei_kawada01@sangiin.go.jp